

# 安全軽視に住民怒り



三反園知事(右)に対し、川内原発の即時一時停止に応じないと回答する瓜生社長(左)は5日、鹿児島県庁

## 三反園知事「今後も要請」

九州電力の瓜生道明社長は5日、鹿児島県庁を訪れ三反園知事に対し、8月26日に要請を受けた川内原発(同県薩摩川内市)の即時一時停止について応じないと回答しました。三反園知事は「熊本地震を受けて、原発をいったん停止させて再点検、再検証すべきだと強く要請した。この回答は極めて遺憾」と表明しました。関係住民からも怒りの声が上がりました。



九電は回答書で、法定の定期検査の中で知事の要請を踏まえた設備などの特別

「住民の安心、安全、不安解消のための対策をもっと講じるように、今後もさらに申し入れたい。詳細は専門家を交えて県庁内で協議していく」と語りました。

1号機は10月に、2号機は12月に定期検査のために運転停止が予定されています。

# 九電 川内原発停止を拒否

## 経営最優先体質裏付け

とめよう原発！か  
ごしよの会代表  
平良行雄さん



川内原発の一時停止を公約に掲げ、現職を大差で破り誕生した原知事の要請は非常に重いものだと思います。それを無視する九電を許すことはできません。

先週も熊本地方で震度5弱の強い地震が発生しました。地震や余震が続く中、多くの県民の不安は強く、定期点検まで待つことはできません。危険がますますはまっていく。この危機感を持って対処すべきです。

定期点検まで原発を停止させないという今回の回答は、九電の経営最優先の体質を裏付けるものです。また、定期点検で『特別』に実施するという点検事項は、本来、安全性を向上させる上で、普段の点検で常に行うべきことでは

## 避難計画不十分なのに

川内原発建設反対  
連絡協議会会長  
鳥原良子さん



川内原発建設反対連絡協議会会長 鳥原良子さん

このまま、トラブルや再稼働後の免震重要棟建設計画撤回など、県民にうそをつき続けてきた九電に、点検して問題ない、安全だと言われても信用することはできません。専門家や第三者を交えた検証が必要で、今回の回答を受け、知事が再度要請することは当然の判断です。知事の意向を尊重します。

今もし、地震で事故が起きれば安全に避難することは不可能で、避難計画が不十分であると県民の多くが感じています。避難先も被災するかも知れません。避難の受け入れ先にも、もし安全に行けたとしても、どれくらいの期間受け入れてくれるのかもわかりません。今も避難が続く福島の状況を考えても、事故が起きる前に直ちに原発を停止すべきです。